

林いさお通信



ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/>
討議資料 No. 86 スカイツリー開業

Tel 049-259-2228 共に!!
24年5月25日号 林いさお後援会



東京スカイツリー開業記念の東武東上線

634号列車の記念プレート(帰路の電車で)

瀧地震(1964年)での

もお招きしたい講師です。

関東町村会トップセミナー

5月22日、23日の二日間にわたって全国町村会館(永田町)にて、関東町村会トップセミナーが開催されました。埼玉、千葉、神奈川、山梨、群馬の町村長が一同に会し、二日間にわたり研修を行いました。

毎年、町村が直面している重要課題の問題解決と、町村長として必要な幅広い知識をさらに深めるとともに、県境を越えた町村どうしの情報・意見交換及び連携強化を図ることを目的に開催されています。

ボランティア活動を契機に防災アドバイザーを志す。以降、「真実と教訓は現場にあり」の現場主義を掲げ、災害、事故、事件等150か所以上の現地調査を行っています。

今回は4人の講師に講演をいただきました。中でも防災システム研究所所長の山村武彦氏による『防災危機管理〜自然災害に町村はどう対応すべきか〜』というテーマの講演は、参加町村長が皆感銘。自治体の防災計画に少しでも活用できたらと思います。

昨年の東日本大震災を人類が経験したことのない広域複合災害として位置づけ、既存の防災・危機管理能力の不備や限界を明らかにし、今、備えるべきは、普遍的な最大公約数の複合災害であると訴えています。それは、震度6、津波外海10m、内海5m、液状化、地盤沈下、そして、インフラエンザの流行や富士山噴火であると。是非、三芳で



政策アドバイザーの松元一明氏

★政策研究所開塾
地方分権が進み、自治体は中央政府に頼るのではなく、自己判断、自己責任で自治体経営を行うことが求められています。厳しい経済情勢の中で、都市間競争に勝ち抜き魅力ある町を作るために、自治体の政策形成能力の向上が重要になってきています。昨年、町が直面する様々な課題を乗り越え、豊かな未来の三芳町を作るために、

政策を立案、研究することを目的に自治体シンクタンクを設置しました。

5月21日に今年度も開塾しました。今年の研究テーマは3つ。先ずは、昨年に引き続き、「新しい公共交通」。平成26年度の導入を目指し3年間の研究の2年目です。そして、新たに日本の里100選に選ばれた「三富新田再生」と「緑の保全と活用」についての研究テーマを設けました。

全体の政策アドバイザーは、(財)地域開発研究所の松元一明氏、また、各チームのアドバイザーは、公共交通は、(財)運輸調査局副主任研究員の板谷和也氏、淑徳大学の鎌田裕美専任講師、三富新田は、淑徳大学の都倉はるみ准教授、緑の再生は、東京農業大学名誉教授、前学長の進士五十八氏です。

また、本年度の大きな課題として、行政の経営改革の推進があります。従来のシステムが機能不全に陥っているため、新たな行政評価システムの構築と、老朽化した施設の統廃合や修繕計画など公共施設のマネジメントを行うシステムを研究します。

これらの研究に、専門委員制度を導入しました。専門委員には、(財)地域開発研究所の牧瀬稔氏、東洋大学PPP研究センター、公民連携コンサルタントの田中憲一郎氏に就任いただきました。政策研究所も2年目に入り、議会や住民の皆さんも成果を求めています。研究員には、実効性のある政策提案を期待し、広報や様々な方法で説明責任をしっかりと果たしていきたいと考えています。